

要スルニ十一月午後ニ於ケル會社側、回答如何ニ依リ具
体的斗争方針ヲ決定スルモノ、如キモ目下、必態度極メ
テ強硬ナリ

(2) 事業主側

會社側、態度ハ兩館、支配人ニモ漏サス小笠原專務独断ニ
テ今回、如キ舉ニ出テタルモノ、如ク將來他、會社ニ影響
スルコト、テ相當強硬ナル態度ヲ持シ、一方兩館ハ平素通
リ開種中ニシテ九月午後九時斗争議団以外、兩館従業員ヲ大
勝館ニ招致シ全館清水支配人ヨリ此際聲勢喧動セサル様警
告ヲ發セリ

追テ會社、營業系統別圖、通り

一 應援團、行動

ハ斗争議ニ対スル応援組合ノ系統ヲ圖解スレハ大体別記ノ通
ニシテ斗争團員、加盟組合タル全國劇場映画従業員組合及

全勞カラハ排撃反對同盟主体トナリ直接応援シ居ル模様ニ
シテ、一方他応援組合ナル開映、開映映画支部等ハ右團體
、專断的行動ニ対シ稍反感ヲ有シ、更ニ關東地方映画劇場
従業員組合統一協議會ニアリテハ指導權ヲ獲得セムト画策
中ナル模様ナリ

ハ九日午後十一時ヨリ翌午前零時三十分迄大勝館三階休憩所
ニ於テ応援會議ヲ開催出席者約二十名須田斗争團長、全
過報告、以テ基金募集、件及応援団本部ヲ近々中大象虎溪
單支部ニ設置スルコト等ヲ申合セリ

尚応援團ハ斗争團本部ト連名ニテ別記ノ如キ標ヲ配布セリ

一 警察事故、有無
目下、必特異ナル警察事故、惹起クミス

一 將來ノ予想
斗争團ハ勿論一般映画従業員間ニ於テキリ化ニ依ル業